

研究課題名	意識障害時の救急脳波：発作再発および意識回復の深層学習予測
研究期間	2026 年 9 月 29 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象	2005 年 1 月～2029 年 12 月の間に広島大学病院で意識障害の精査で脳波検査を受けられた方
研究の目的・方法	研究の目的：てんかんは100人に1人にみられる頻度の高い神経疾患ですが、本邦におけるてんかん診療の実態、特に診療の質の把握は十分ではありません。どのような治療を受けて、その後どのような経過となっているのか長期的な転帰を明らかにすることの意義はとても大きいと考えます。特に急に発作を引き起こして、緊急入院することがありますが、その際には十分な治療を施して発作を止める必要があります。そのため、初期治療の後に発作をすぐに再発するかを早い段階で予測することの意義は極めて大きいです。そこで、てんかん重積状態の診療データを用いて、早期の発作再発の予測する手法の開発することを目的とし、この研究を計画しました。 研究の方法：本研究は、先行研究「意識障害次の救急脳波：多施設共同観察研究（E2023-0209）」で取得した診療録（カルテ）情報を二次利用し解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、発作症状、血液検査、脳画像検査、脳波検査、治療内容などです。 情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山博文
利用または提供を開始する予定日	2026 年 9 月 29 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	本研究で使用する先行研究「意識障害次の救急脳波：多施設共同観察研究（E2023-0209）」のデータは、先行研究において特定の個人を識別できる情報を削除し、研究用の番号を付して管理しているもので、個人情報は含まれておりません。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山博文 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山博文 共同研究機関 Monash University Department of Neuroscience Professor Patrick Kwan

その他	本研究で用いられた検査データなどは将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを二次利用と言います。二次利用する際は別途倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。将来の研究に利用した場合は、本学のホームページ（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開）https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspxへその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。 なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 脳神経内科 担当者：音成秀一郎 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201